

静如庵 便り

平成 30年 1月10日 発行
第 19 号
(社)立縫会 静妙庵発行
Tel 58-0800

明けましておめでとうございます



旧年は大変お世話になり、ありがとうございました。これからも皆様に満足いただけるサービスを心がける所存ですので、昨年同様のご指導とご鞭撻をいただければ幸いです。

本年も職員一同よりお願い申し上げます。



脳トレーニング

今でこそ、携帯電話に電卓機能が搭載され、そろばんは私たちの日常からすっかり見かけなくなりました。

職員がある時、「以前は商店を営んでいらっしゃいましたよね？勘定は、そろばんでしたっけですか？」と尋ねると、「そうよ。そろばんを使ってたよ。」と、電卓が普及するまでは、計算といえばそろばんであったことを教えていただきました。後日、計算問題を用意すると、慣れたようにそろばんを弾き、解かれました。答え合わせする職員は、もちろん電卓です…。

これからも頭のトレーニング、認知症の進行予防に向け、個々に合った活動を取り入れていきます。

「そろばんで勘定しよったよ」



平成29年10月27日(金) 秋の遠足に西都原古墳群へ行ってきました。コスモスは、五分咲きでしたが、豪華なお弁当はほとんどの方が完食されていました。コスモスと共に利用者の笑顔がいっぱい咲きました♡

西都原へ コスモス花見



役割を分担し、生活します

午後になると、「家に帰らんといかん。」と訴えられるときがあります。その訴えをひも解いていくと、利用者は、仕事に子育てをしながら、慌ただしく家事をこなし、家族を支えてきました。毎日行っていた家事は、ご本人にとって習慣として身につけており、認知症になっても、天候や時間をみて自然と家事を気にされています。そのため夕食の支度の時間となったため、家に帰りたいと訴えられていました。

グループホームは、皆さんと共同生活の場です。それぞれの「できること」を普段の役割として職員と一緒にやっていただいています。自分も仕事をしている、みんなの役に立てていると感じていただき、安心して過ごせる「第2の自宅」になるように支援させていただきます。

運営推進会議のご案内

2ヶ月に1回、第4水曜日の14時から1時間程度、地域の方や市役所職員、協力歯科の先生、南部包括支援センターの職員を招き、当施設の事業報告や活動報告、運営にあたっての相談を行い、アドバイスをいただいています。ご家族の参加も可能です。お待ちしております！

平成30年2月28日(水) 14:00より